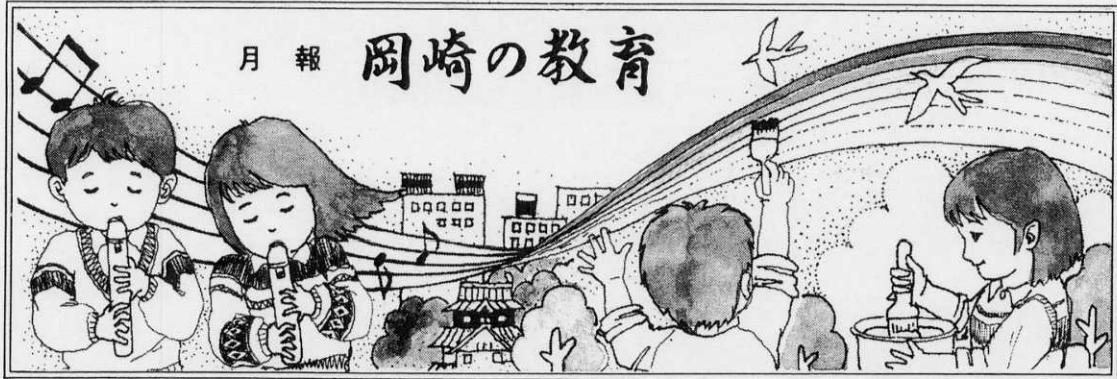


月報

## 岡崎の教育



5月号

小川のせせらぎと  
うぐいすの鳴き声が聞こえる  
奥殿の山。

草木をかき分け  
一生懸命にわらびを探す  
子どもたち。

「あつた。」  
子どもたちの歓声が  
ところどころに響く。

わらびを持つ私にも  
気持ちのよい  
ほのかな疲れが残る。

(わらびがり)

昭和63年5月1日  
発行／編集  
岡崎市教育委員会



(ぐんぐんのびよー奥殿小)

# 起立性調節障害について



## 前川 修

最近は児童・生徒の間に様々の不定愁訴を持つている者が増加しており、その中にはかなりの割合でドイツ学派の言う起立性調節障害(以下O・Dと記す)が含まれておるとされる。大変難儀な病気の様に思われるが、實際は身近にみられる障害である。以下O・Dを疑う實際の症状と、何故この病気が問題かを述べてみたい。

最近では学校の朝礼等の行事は回数も少くなり、一回の時間も短くなつたが、これが少し長びくと脳貧血を起こして倒れたり、或はそれ迄いかなくとも氣子もO・Dの事が多い。入浴時等に気分が悪くなつたり、熱い風呂に全く入れないか、それ程でなくとも長く入れなかつたり、心疾患もないのに動悸、息切れがあり、特に一寸した運動時、例えば階

段を二階迄上るとか、少し走つたりした時にみられるのもO・Dが多い。短距離なら比較的速く走れるが、マラソンになると苦手と言うケースもある。O・Dでよくみられるのは、朝目が覚めた時に、何となく気分がすぐれない為、その儘床を離れ難く、又起きても何となく気分がすぐれない状態である。又起きた時に頭痛

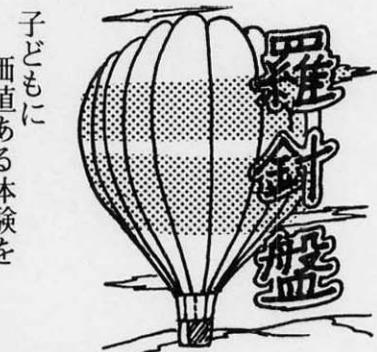
味があり、之等症状を持つ児童・生徒は学校で色々特徴的な症状を示すので、少し注意して観察しておれば、容易にO・Dではないかと疑う事が出来る。この病気の特徴は生命に関しては心配ないけれども、治療が何故必要かを認識していただきたい。このO・D児は午前中エンジンが掛りにくく、勉強に身が入らず成績のない事もある。又嘔吐が見られる事もある。その為屢々学校に遅れそうになつた

り、遅刻したり、又遅れてしまつた為学校を欠席する事もある。又午前中を通じて何となく気分がすぐれず、午後になると遊び回つたりする。午前中でも特に一時間目の授業に集中出来ず、何となくボンヤリしている事が多く「頭の中を風が吹いている」と言う表現をされる。

O・Dは予後不良な疾患ではなく、適切な治療と自律神経鍛練及び生活リズムの適正化により良くなり得るものである。

(註) O・Dとはドイツ語の略語で

(岡崎市教育委員・前岡崎市医師会会長)



## 子どもに価値ある体験を

前理科指導員

深津 武司

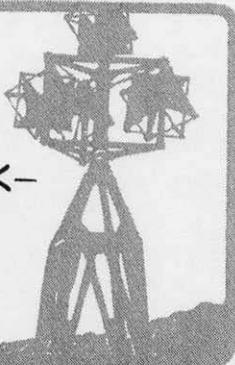
ある校長先生が月曜集会で言われた。「あたたかくなつて気持ちがよいですね。虫たちも、草花もよろこんでいるかな。学校のまわりにも春がいっぱいあります。ここにも春があるよ」と一つでも見つけた人は、校長先生に教えてください。みんなで集めると、すばらしい春を見つけることになるね」

一つの気づきは一つの感動である。感動は年齢に関係なく学習の出発点である。一昔前までは、登下校の途中で草花を摘んだり、虫や魚たちと遊べる環境があつた。今は、交通事故に注意する方が優先し、自然観察どころではなくつていふ。自然から離れがちな子どもをいかに自然と触れ合わせるかは、教師の大きな課題である。

子どもの目の位置で、子どもと語り、

## ふるさとシリーズ

## この人に聞く—



## 茶道具指物師

永田 精一 氏

た永田精一さんをお訪ねした。茶道具の指物師、茶道で使う茶碗や軸などを入れる箱を作るのがお仕事である。

修業を始めたのは大正十四年、この道六十四年目を迎えた。名古屋での修業を振り返り、師匠に対してもういちばんありがたいと思つていらっしゃることは、「最初の三年は何もさせず、そばに立つて師匠の仕事を見ていただけです。ただ目で、『あれを取れ、これを取りと言ふことです。そうしているうちに、仕事を会得していくんです。二年以上も無駄をしてから仕事に入るのですが、本

番になつたら十分腹に入つてゐるからすぐには仕事ができました。今は時間がないからすぐに仕事場へ入るが、無理でしようね」

「テレビのインタビュー番組で人間国宝の人気が、初めの三年間は全然やらせてもらはずとても残念だったので、自分の弟子にはすぐやらせてやつたところ人もものにならなかつたと言つておつた。やはり、おれの師匠はえらかつた」

とも。名古屋で五年修業して岡崎に帰つたばかりの頃、自信満々で見せた作品をお父さんに金づちでこわされてしまつたそうである。

「親父は厳しかったね。何くそという気持ちになつた。その時のものが今あつたら恥ずかしい。こわされてよかつたと思う」

よき師匠、よきお父さんによって現在の永田さんがあるのであろう。

永田さんは、本業のほかに「岡崎茶交

会」の幹事長として、市内の茶道諸流派

のまとめ役もしておられる。

「茶道は余技、自分の楽しみでしていま

す。茶の心得がないと風格のある仕事はできないですね。茶道をやつて吸収してやらんと、漠然と作ったのでは箱に氣品が出来ません」

三十八年来親しんできたと言われる茶道の心が、作品へうつし出されるのだろう。

多くの茶道のお師匠さん方をまとめてい

る。番になつたら十分腹に入つてゐるからすぐには仕事ができました。今は時間がないからすぐに仕事場へ入るが、無理でしようね」

「立たない仕事といつくなられても謙虚に受け止めてみえるからであろう。このようなお人柄ゆえにたいへん幅広く交際もしてみえる。

「小学校しか出ていないから、自分より上の人と話すことによりいろいろなことを勉強した。えらい方からかわいがつてもらえるのは、こういう仕事をもたせてくれた親のおかげだ」

現在は二人のお嬢様を嫁がせて奥様と二人で暮らしてみえる。作品を注文先へ届ける時は、枕元へ二晩ほど置いて休ま

れるという。お嬢様を嫁がせた時と同じ心境だという声は少々寂しことに感じた。

「生年月日 大正元年九月二十七日 一住 所 岡崎市元能見町二〇二

子どもと外に出で、もつともつと自然と対話したい。今の子どものまづ将来を見通して、何を子どもに体験させたらよいか真剣に考えてみたい。

## 音楽する雰囲気

音楽科指導員 酒井 正子

「あつ、校長先生だ。」

訪問先の、校長先生と教室に入った途端に、にぎやかな子供の声。机を取り除いて広々とした教室の開放感と相まって、

子供たちがのびのびしている。

「さあ、それでは音楽の勉強始めるよ。」

と先生の声。すると今まで後ろを見ていた子供たちが一斉に先生に注目。先生の笑顔も実にいい。次の指示を待つ緊張感

と早く歌いたいという期待感が教室にあふれ雰囲気に負けない明るい歌声が響く。

「始めるよ。」

で、さつと注目した子供たちは、「カスタネットを出して。」

の指示にも、うるさい音をたてることもなく用意。そして静かに次の指示を待つ。

音楽の授業では、思わず歌いたくなる、体を動かしたくなる雰囲気は大切なことである。低学年では、のびのびとした雰

囲気に加えて、「先生の話をしつかり聞く」という基本的な学習習慣を確立するこ

とがより楽しい授業の必要条件といえる。

苦手なオルガンを必死で練習した先生の熱意と、導入時の解放感と緊張感が気

持ちよく持続した授業は印象的であった。

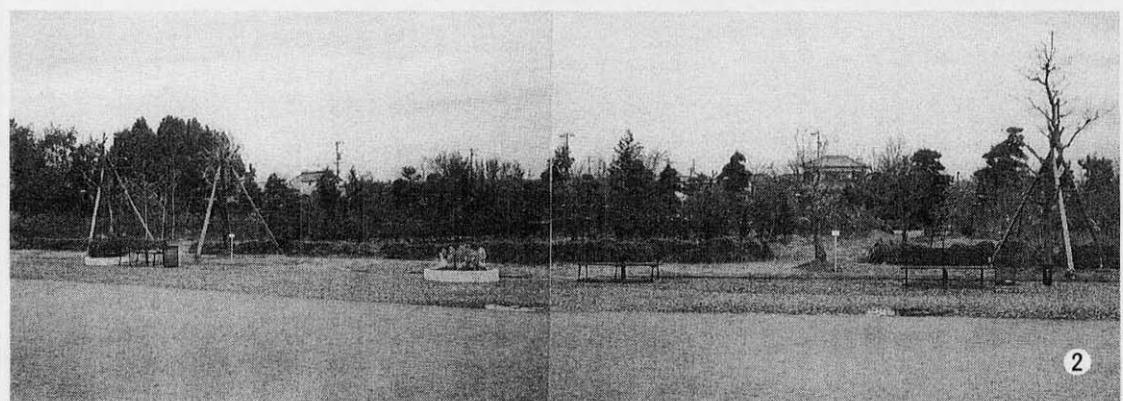
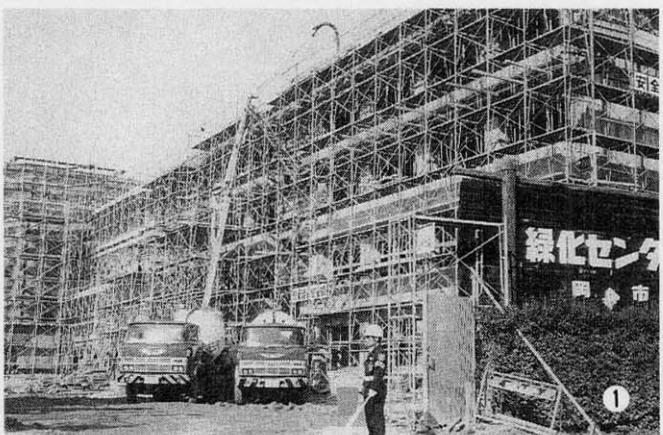
# 北中学校誕生

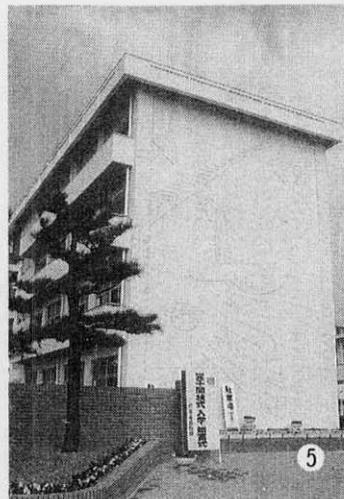
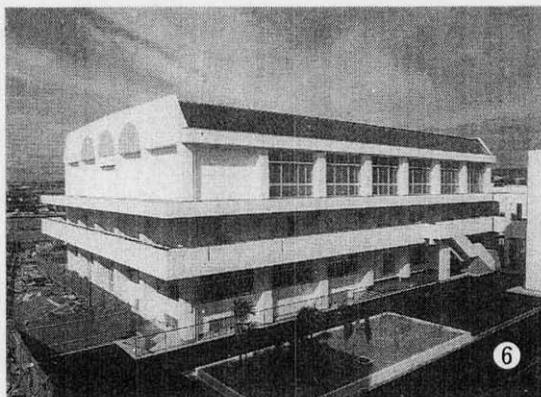
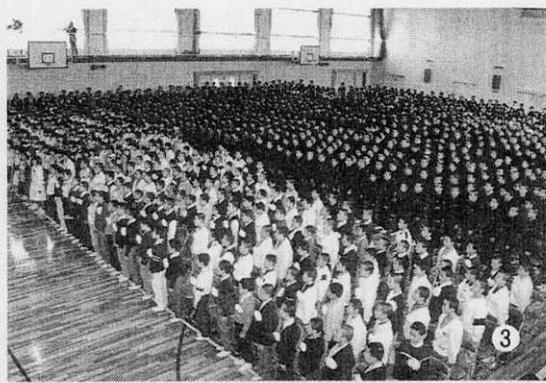


過大校解消をねらい今年北中学校が誕生した。三年生の二九八名は、岩津中から二〇二名、葵中から九三名、その他の学校から三名。二年生三一八名はそれぞれ二七名、九八名、三名。一年生は太門小一六六名、大樹寺小一三三名、他から九名。合計九二四名での門出である。

学校は、国道二四八号線を北上すると、青木橋手前で学校の案内表示がある。国道でドライバーの頭上に学校の案内表示があるのはここぐらいで道に迷うことはない。

緑化センターの跡地のせいか、入学式には満開の桜が校舎を取り巻き、新設校なのにそれを感じさせない雰囲気が満ちていた。





①校舎建設中の緑化センター跡。  
②学校用地として準備されていた緑化センター。

広々とした用地は緑地公園として市民に開放され、生かされていた。

③制服がまだ決まっていないので、一年生は私服で入学式に臨んだ。

母体校の制服を着た二年生や三年生とは対照的である。

④開校式であいさつする中根岡崎市長。

⑤建築費の一パーセントは個性ある文化性にあてるとの意図で、校舎壁面に壮大なレリーフ。このほか体育馆に葵中生徒デザインの壁画。

6

本館にも岩津中生徒の壁画。

7

8

⑥3階建ての体育馆。

⑦体育馆階は武道場。

⑧岡崎市学校環境緑化推進委員会から贈られた「友情の花」を手入れする生徒たち。



## 交流給食

上地小　守山　妙子

「六年二くみのおにいさん、お

ねえさん、おせわになります

た。もうすぐ、おわかれです

ね。いつしょに、きゅうしよ

くをたべたいとおもいます。

おねがいします。

一年二くみより

交流給食の申し込みである。

返事が来たのは、三日後。

「いっしょに、きゅうしょくを

たべましょう。二月二十九日

にしませんか。一年二くみで

も、遊びを一つ考えておいて

ください。

六年二組

手をたたき、とびあがつての  
喜びようである。  
待ちに待つていた日は都合が  
悪く、  
「今日、交流給食をします。」  
と告げたのは、三月十日であつ  
た。

「わあい。」  
「ほんとう?」  
「きょうはいいことばかりだ。」  
四時限終了のチャイムとともに  
に、子供たちはいそいそと準備  
にとりいかつた。

三階の理科室が、会食場であ  
る。すでに、六年生の子がいす  
を運んでくれている。

「いただきます。」  
少し、たつと、  
「ねえ、おにいさんかおねえさ  
ん、いる?」  
「わたし、おねえさんがいる。」  
「牛乳のふた、とれる?」  
六六年生の心づかいが表れる話  
しかけにより、一年生の口から  
も、声が出るようになつた。

「あのね、ぼく、いつもおかわ  
りするよ。」  
「わたし、りんごがすき。」

献立は、赤飯とエビフライで、  
子供たちにとっては、良いこと  
ずくめであった。

いつもは、時計の針が気にな  
るT夫やE子が食べている。

楽しい会話をしながら、時間  
内に食べられた。

目が合ったT夫に、驚きの表  
情を示すと、にこっとした。

「昼の放課、手つなぎおにをし  
ませんか。」

六年生の提案に、

「いいよ、いいよ。」  
うなずいて喜ぶ一年生だった。

給食を通して、学年を超えた  
心の交流の時を持てた。



## 米山寮訪問

竜海中　西郷　裕司

静かに座っている子供たちの  
いる部屋に入ったのは冬休みの  
終わりの日であった。

本校では毎年生徒会の行事と  
して米山寮訪問を行っている。

米山寮は家庭の事情などで両親  
のいない子供を預かる施設で、

そこで暮らしている子供たちの  
間も終わりに近づき、最後のブ

年齢は六歳未満の幼児がほとんど  
である。そこへの訪問ということで全校に呼びかけ生徒の中  
から数十名を募集し、毎年一月  
にそこを訪れるのである。今年  
の訪問内容は演劇部による紙芝居  
と人形劇、生徒会の役員によ  
る手品、一般生徒による寸劇、  
全校生徒から集めた小さい頃に  
使っていたおもちゃのプレゼント  
である。特に、おもちゃのブ  
レゼントについては今回のメイ  
ンイベントであった。

生徒会の役員と計画を立てる  
時に、この訪問で最も不安だつ  
たのは全校生徒から訪問者が集  
まるか、子供たちへのプレゼン  
トを集めることができるかとい  
うことであった。ところが、募  
集を始めてみると訪問に参加す  
る生徒もおもちゃも予想に反  
してたくさん集めることができた。  
半信半疑の目で役員と顔を合わ  
せながら思わず笑ってしまった。

それと同時に、自主的な奉仕活  
動に参加・協力する生徒が意外  
に多いのに喜びを感じた。

部屋に入るやいなや子供たち  
の熱いまなざしが我々を見詰め  
ている。その何でも溶かしてし  
まうようなまなざしが一体何な  
のか。よく分からぬうちに訪  
問も終わりに近づき、最後のブ



年齢は六歳未満の幼児がほとん  
どである。そこへの訪問という  
ことで全校に呼びかけ生徒の中  
から数名を募集し、毎年一月  
にそこを訪れるのである。今年  
の訪問内容は演劇部による紙芝居  
と人形劇、生徒会の役員によ  
る手品、一般生徒による寸劇、  
全校生徒から集めた小さい頃に  
使っていたおもちゃのプレゼント  
である。特に、おもちゃのブ  
レゼントについては今回のメイ  
ンイベントであった。

レゼントの時間になった。その  
時である。子供たちの目が今ま  
で以上に輝き始めたのである。

「そうかこれなんだ」と思った。  
子供たちはこの時を待っていた  
のである。使い古しの何でもな  
いプレゼントにこれ程の輝きを  
見せてくれたこの子供たちの今  
までの生活ぶりと寂しさが何か  
切なくなつた。その寂しさを一  
緒に行つた生徒がどれ程感じた  
か分からぬが、世の中にはこ  
のような子供たちがいることを  
知るだけでもこの施設訪問をし  
た意味があると思う。また本校  
では年間を通じて岡崎盲学校と  
の交流を行つてゐる。弱者の立  
場で考えられるような生徒が育  
つことを願つてやまない。

「わあい。」  
「やつたあ。」



## ◆寄贈刊行物・資料等

◆庶民の哲学

岩附

新書版 一九八ページ

◆のびっ子―教師の記録II

## ◆おかざきの英語

杉浦 健支

現職教育英語部

B6 二三九ページ

○十月二十七日(木)

◆甲山中生のあゆみ

東海中学校

B5 一八九ページ

藤川小学校

甲 山 中

○十一月十日(木)

◆変形B5 三四一ページ

A5 大久保慎一

矢作東小学校

◆体育の話

A5 五三ページ

矢作中学校

連 尺 小

○十月二十九日(木)

## ◆英語指導法アイデア集

現職教育英語部

指導法研究委員会

B5 四四ページ

○十一月二十四日(木)

六ツ美北部小学校

○五月二十三日(月)

## ◆ダリマナ87

太田 一弘

○十月二十日(木)

新香山中学校

○十一月十四日(月)

竜南中学校

○五月二十六日(木)

大門小学校

○六月九日(木)

緑丘小学校

○六月二十日(木)

美川中学校

○六月二十六日(木)

河合 澄江

○七月十四日(月)

・高橋 岩雄 (常南小)

○七月二十六日(木)

・林 和泉 (矢作中)

○八月二日(木)

・名倉 昭人 (根石小)

○八月二十一日(木)

・河合 洋人 (矢作中)

○八月二十九日(木)

・長坂 博幸 (愛宕小)

○九月二日(木)

・野々山 こず江 (井田小)

○九月二十九日(木)

・伊藤 きそ (本宿小)

○九月二十九日(木)

・長坂 博幸 (愛宕小)

○九月二十九日(木)

・河合 澄江 (山中小)

○九月二十九日(木)

・萩野 順子 (奥殿小)

○九月二十九日(木)

・平国 亮子 (細川小)

○九月二十九日(木)

・村上 信良 (美川中)

○九月二十九日(木)

・榎原 正樹 (南中)

○九月二十九日(木)

・牧内 映雄 (葵中)

○九月二十九日(木)

・大久保幾三 (東海中)

○九月二十九日(木)

・大村 寛 (矢北中)

○九月二十九日(木)

・山本 光昭 (竜南中)

○九月二十九日(木)

・伊藤 安彦 (市教委課長)

○九月二十九日(木)

・白井 正壯 (市教委)

○九月二十九日(木)

## 全日本学校緑化「準特選」二校

## 加藤浩二氏に農林水産大臣賞

六十二年度全日本学校関係緑化コンクール（国土緑化推進委員会主催・文部省・農林水産省など後援）で岡崎市立矢作中（河合洋人校長・生徒千百三十九人）が学校環境緑化の部、同河合中（杉浦裕巳校長、生徒八十六人）が学校林等の部でそれぞれ、同推進委員会長賞の準特選を受賞。五月二十二日、香川県で開催された第三十九回全国植樹祭会場で表彰された。

矢作中学校は、創立以来、植物の生育に適さない土質を改良を育て守り、緑を広げようをテーマに、思いやりのある心豊

園の整備などを実行してきた。中でも造林・雑木を利用したシイタケ栽培と炭焼きに力を入れて

河合中学校は、五十三年から「自ら汗する」教育を実践、六十二年度は「緑に汗し、緑で育つ」をテーマに、ヒノキの植樹山林管理・ゲンジボタルの飼育野鳥観察・昆虫調査・自然植物園の整備などを実行してきた。中

学校訪問について

■昭和六十三年度松下視聴覚教育研究助成 ○甲山中Ⅱ生気溢れる授業の確立（助成金六十五万円）

○六月九日(木) 岡崎小学校  
○六月二十日(木) 竜美丘小学校  
○六月二十一日(木) 福岡小学校

●大村 寛 (矢北中)  
●牧内 映雄 (葵中)  
●大久保幾三 (東海中)  
●大村 寛 (矢北中)  
●山本 光昭 (竜南中)  
●伊藤 安彦 (市教委課長)  
●白井 正壯 (市教委)

■昭和六十三年度県教育委員会 ○五月十六日(月)

○十月十三日(木) 城北中学校  
○十月二十一日(木) 岩津小学校  
○十月二十九日(木) 大樹寺小学校

(7)

・表紙写真  
・カット

新香山中 奥殿小

中島純一 藤井良建

交通少年団は、児童に団体活動、奉仕活動を通じて体験的に交通安全の知識を修得させ、車社会に対応できる人間形成を目的に結成された団体である。県下では、昭和四十六年に第一団が発足した。岡崎には四十八年に羽根学区に誕生し、現在二十五団体が加盟している。交通戦争ともいわれる車社会に対応するには、運転者、歩行者とも交通安全に対するしつかりした知識と心構えを持たなければならぬ。特にそうした人間形成には幼児期、少年期の体

験が大切であるといわれている。各学校での交通安全教育の充実や交通教室の実施など、安全指導に力を入れるゆえんである。交通少年団の活動は、学校や学区内の各種団体など地域ぐるみの支援を受け、児童自ら正しい交通ルールの実践と共に学区への啓蒙活動など安全意識の向上に努めている。

個々独立して誕生した少年団も昭和五十二年統一組織として「岡崎地区交通少年団連合指導育成協議会」が発足し、ますます活動の充実が図られている。

黄金週間。今年は「国民の休日」まで入って、まさに大型連休となり、観光地はどこも大にぎわいであったようだ。しかし五月一日現在で調べる各種調査統計、教育相談や教材研究等々に追われ家庭サービスは今年もおあずけ。親子のふれあいを大切にして欲しいと、他人には説くのだが。



## 交通少年団

# この本を

* 一体を歩く	水上 勉
日本放送出版協会	¥1500
* 「切り志向」の日本人	朱 冠中
文芸春秋社	¥1300
* 届託なく生きる	城山三郎
講談社	¥1200
* 平家物語 見ながら読む無常の世界	学習研究社編
学習研究社	¥1200

* 母のための教育学	小原国芳
玉川大学出版部	¥1500
教育の仕事は家庭と学校と社会の三つが力を合わせねばならない。なかでも家庭は教育の源であり、その教育者は母親である。	

全人教育の理念に基づき玉川学園を創設した著者が、永年の教育経験から得た母親としてのあり方を事例を挙げながら説いている。

14度目の改版であるも、本書が今もって愛読されるのは、著者の本当の教育への願いがにじみ出ているからである。

シ  
オ  
ス  
ア

新設校が、また一つ誕生した。  
岡崎市では、昭和五十年以降、  
新設校ラッシュを迎えており、今  
年度の北中学校で十一校目を数える。  
年々、施設は充実してきているが、開  
校当初に伴う大変さは変わらないよう  
ある。苦労の多い反面、やりがいもある  
という。大いなる学校づくりに期待する。

寸分の狂いのないものを作るの  
が名人だろう。素人にはわからない  
い部分にも名人は妥協しない。抹茶茶碗の入れ物だから四角くできるのは  
当たり前。少しでもひずみがあれば、ふ  
たの向きが変わるととはまらない。どのよ  
うにふたをしてもびたつとはまる箱を作  
る。名人が名人たるゆえんである。